

事故をゼロに！

1700日

無事故 無災害記録 への取り組み

第一工事務

ゼネラルマネージャー

まえの

たくや

前野 拓也さん

河和事業所が無事故無災害記録1700日（※2025年1月現在）を達成しました！「安全は全員が担うもの」という信念のもと積み重ねられた、約5年にわたる記録。その成功の秘訣と今後の展望について、前野さんに伺いました。

無事故無災害記録の経緯

目標を掲げ、100日ごとに達成を祝うことで安全意識の啓発に

大きな事故の原因は、集中力の欠如だと考えています。事故発生後は一時的に安全意識が高まりますが、**無事故が続くと次第に緊張感が薄れ、安全への配慮が不足しがち**です。過去には、約100日に1回の割合で小さな事故が発生し、お客様や社内に迷惑をかける事例もありました。このような状況を改善するため、15年ほど前に当時の安全衛生コンサルタント

と相談し、始めたのが「無事故無災害記録」です。**毎日目標を設定し、100日ごとに達成をお祝いすることで、日常の作業で安全に対する意識を高めよう**と取り組んだのです。100日、200日と記録を重ね、500日、1000日達成会は盛大に。そして先日、1500日達成会を無事に開催できました。

1700日無事故達成の秘訣

全員で声をかけ合い、集中力を維持する環境をつくる

1つのポイントは、コミュニケーションです。朝礼で「あと10日で100日達成です。皆さん、安全に作業してください」などと**現時点での記録を共有して、全員の安全意識を高めています**。日頃からみんなで声をかけ合う環境づくりを心がけていますが、年末など事故のリスクが増加する繁忙期

には特に、安全に対する注意喚起を行い、集中力を維持できるよう努めています。また、達成会では普段あまり交流のない協力会社同士の繋がりが生まれます。**会社間の壁をなくして、互いに注意し合える雰囲気を作る**ことで、無事故の記録を更新しています。

安全な運営を続けるために、社員の皆さんに求める姿

日頃から安全日数に意識を向けて

現在は第一工事務が中心となり、安全日数を設けて運営しております。しかし、今後は第二工事務のメンバーも含めて、**より多くの社員に安全日数に対して関心を持っていたきたい**と考えています。日々の業務の中で、少しでも意

識してもらえることで、会社全体の安全意識を高めていくと期待しています。達成会につきましても、できるだけ多くの社員に参加していただき、共に成果を祝う機会を持つことができれば嬉しく思います。

1500日達成会について

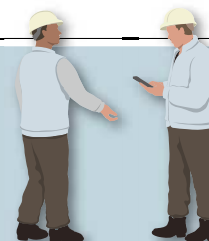
日時：2024年11月30日（土）

場所：名古屋市「焼肉Garden MISAWA」

参加者：当社社員及び協力業者あわせて35人

会中での企画「腕相撲大会」には16名が参加し、豪華賞品を懸けて熱戦を繰り広げました。優勝者にはJCB商品券2万円、2位は1万円、3位は5000円分を贈呈。普段から力仕事を担っている皆さんが、その**腕っぷしの強さを存分に披露**し盛り上がりました。

また、今回は香山社長も参加しており、社員との交流を深める場となりました。引き続き、このようなイベントを通じて、社員や職人さんたちが居心地よく働ける環境の実現を目指したいと思います。

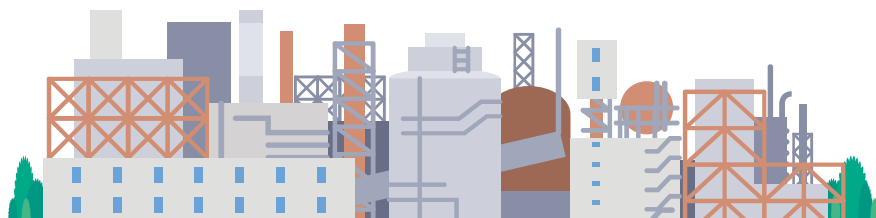


今後の展望

1人ではなく全員で「安全の輪」を広げる

本人だけでなく、家族や仲間も悲しむ事故は絶対に避けたいと考えています。特に河和事業所では、**同じメンバーと共に作業するため、なれ合いが生じやすくなります**。監督や職人、お客様との関係の中でも、その傾向が見られ、安全意識が薄れる危険性があります。この状況を改善するためには、1人

ではなく、みんなで注意し合うことが重要です。**毎日のコミュニケーションによって「安全の輪」を広げることで、事故は防ぐことができます**。安全な作業こそ一流の仕事です。社内全体で安全意識を高め、小澤製作所をより良い企業へと、ともに成長させてまいりましょう！



現場 最前線

今回紹介するのは現在進行形の現場。20tもある装置に組み込まれる巨大なガスギアを製作し、旧品から更新する工事です。この現場では、作業者全員がいかに息を合わせて作業するかが、安全を左右する肝となっているそう。リアルな最前線を、さっそくご覧ください。

現場の概要

工事名：ピニオンギアおよび
ガスギアの更新工事（現在進行中）

工事対象機：1台

作業場所：お客様の工場内

期間：ギア製作＝約2か月 更新工事＝約10日間

メンバー：小澤製作所1名（私）・下請け5名

現場で特に大変なこと

約20tもある重量物の移動には、自走する電動チルローラーを使用します。その使用時は、お客様の設備を損傷しないよう、そして事故やけがないように、安全に配慮して移動。そのため、作業者全員で息を合わせて作業するのがなかなか大変です。声を合わせて周囲に最新の注意を払って作業しています。

現場を円滑に進めるための工夫

事前に現場を把握して計画をしっかり立てる

工事を行うにあたり、お客様に工場の生産調整を行ってもらっています。万一想定外の事態が発生すると、段取りがゼロになり、生産調整していただいたお客様にご迷惑をおかけすることに……。つまり、お客様の生産活動に影響を与えないよう、全工程をスムーズに行う必要があります。事前に現場の状況を把握してしっかりと作業計画を立て、想定外の事態が発生しないよう現場に臨んでいます。



製造本部 サブディレクター

ふかみ えいじ
深見 英司さん

現場で心がけていること

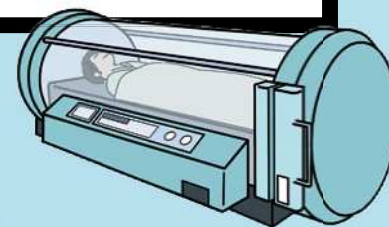
一番大切なのは安全面

監督者として安全・品質・工程・原価の4点をしっかり管理する必要があります。その中での優先順位付けは難しいところですが、やはり安全が一番！とくに、朝の打ち合わせが作業員全員の安全を左右すると考えています。毎朝、当日の工程や詳細な作業内容、注意点を共有して、全員が息を合わせて作業できるよう、働きかけています。

新導入の

活用しよう！・福利厚生

「酸素カプセル」



「皆さんには健やかに、元気に、業務に臨んでほしい……」。その思いから整備しているさまざまな福利厚生に新たな施設が加わりました。

それはズバリ「酸素カプセル」です！

さっそく、導入の立役者である深見さんにお話を伺いましょう。

酸素カプセル導入の経緯

1. 「名古屋南事業所でも何かできないか」

名古屋南事業所が開設して4年目。福利厚生の一環として、河和事業所では職人さんも含め誰もが休憩室で団らんできるようにジュースの飲み放題を設置済みでした。そこで「名古屋南事業所でも何かできないか」「職人さんも出入りする中で、どうしているか」と検討を開始。「社員だけでなくご家族も含めて皆さんが使えるように酸素カプセルを設置しよう」との考えに至りました。

製造本部
サブディレクター

ふかみ えいじ
深見 英司さん



2. 実際に使っていて良さを知っていた

酸素カプセルのことは昔から使っていて、その良さを実感していました。というのも、ゴルフ場に設置しており、ラウンドを回った後に使っていたのです。高濃度の酸素カプセルの中に入ると、私の場合はまず目がすっきり！もちろん、疲れもとれます。「この良さを皆さんにも体感してほしい！リフレッシュしてほしい！」と思い、導入しました。



酸素カプセルの メリット

- ◎ 全身の疲れがとれる！
- ◎ 眼精疲労にも良い！
- ◎ 二日酔いもすっきり！

酸素カプセルの中で1時間ほど寝ると、めっちゃめっちゃすっきりします！



おすすめ

メッセージ

体が疲れているときの効果はてきめん！一度酸素カプセルに入って、どれだけ疲れから回復するか試してみてください。「本当に使っても良いのかな……」といった遠慮は一切無用です。せっかくの福利厚生、ぜひ家族ぐるみで活用してください。